東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部　臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性がありますが、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

入院 COVID-19 凝固異常症に関する前向き観察研究

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、COVID-19 凝固異常症について解明することを目的としています。

【研究の対象となる方】

２０２１年5月２４日　から　２０２３年3月３１日　までの間に、
当院の総合内科、呼吸器内科、救命救急科で COVID-19 の入院加療を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日　から　２０２３年3月３１日　まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

・試料：（例）血漿、血清、
・診療情報等：（例）COVID-19、静脈血栓症、動脈血栓症（虚血性心疾患、虚血性脳卒中、末梢動脈閉塞症）、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像、心電図）

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院　（電話：代表 0463-93-1121　内線：２４７０）
研究責任者　　総合内科　　沖　将行
問い合わせ担当者　総合内科　　沖　将行